

2014年5月14日配付

国立民族学博物館創設40周年

# 「みんなくおもちゃ博覧会— 大阪府指定有形民俗文化財 時代玩具コレクション」



会期：2014年5月15日(木)～8月5日(火)

場所：国立民族学博物館 企画展示場

## 国内有数の玩具コレクションの中から厳選して展示 子供が遊べる体験コーナーも！

本展示は、平成25年に大阪府より当館に寄贈された大阪府指定有形民俗文化財「時代玩具コレクション」を用いて企画したものです。本コレクションは、江戸時代から平成にかけての日本の玩具史を網羅しており、国内の玩具コレクションのなかでも有数の規模を誇ります。この膨大なコレクションを今回は「ブリキ製玩具」、「ボード玩具」、「マスコミ玩具」、「カード玩具」という4つのテーマに沿って紹介します。本展示では5万6千点を超えるコレクションから260点を選び抜き展示します。

## 【展示趣旨】

明治時代、日本で玩具専門店が開業しはじめ、外国の玩具をもとにした国産玩具が盛んに製造されるようになりました。第一次世界大戦の影響でヨーロッパにおける玩具生産が不調になると、国産玩具の生産はますます隆盛になり、世界有数の玩具生産国へと成長しました。関東大震災や、第二次世界大戦の影響で一時的に玩具の生産は低調になりますが、電動玩具などの発明で、1960年代には再び世界第一位の輸出玩具の生産量をほこるようになり、現在でもさまざまな玩具が製造されています。

本展示では、ブリキ製玩具、ボード玩具(盤上玩具)、マスコミ玩具、カード玩具(絵札玩具)の4つのコーナーから近現代日本の世相を概観していきます。これらの玩具は、世代を超えてご来館の皆様の思い出を色鮮やかによみがえらせてくれるでしょう。

## 【展示内容】



### 1. ブリキ製玩具

ブリキ製玩具は、日本において幕末に製造され始め、その後、ブリキ玩具素材の中心的な役割を担っていきます。また、その生産には明治以降の日本の工業事情とも密接に関連しています。ここでは、そのような歴史的な変遷に明治から昭和にかけて着目します。



### 2. ボード玩具(盤上玩具)

伝統的な盤上玩具として日本書紀にその記載がみられる双六は、貴族階層のなかで広まり、日本の玩具としては最古級の歴史を持っています。これらの玩具は、現在もボードゲームとして人気を博しており、そこで用いられる意匠には、テレビアニメや小説、映画俳優などのキャラクターが用いられています。ここでは明治以降に描かれてきたモチーフを紹介しながら、各時代の世相を振り返ります。



### 3. マスコミ玩具

マスコミ玩具は、テレビ、雑誌、小説、アニメ、演劇、映画等のキャラクターを玩具にして、日本の「マンガ文化」と密接に関わりながら展開している玩具です。ここでは明治以降のキャラクターをもとにした玩具資料を展示。



### 4. カード玩具(絵札玩具)

カード玩具の代表となるカルタ・トランプの歴史は古く、これらの玩具は海外との関係性も深くもっています。一方で、日本で独自に発達したカード遊びとして百人一首や花札もあります。ここでは、こうした国内外での歴史的な広がりや、遊び方の変遷について紹介します。

## 【関連イベント】

6月29日(日) 14:30~15:30

ウィークエンド・サロンー研究者と話そう

「時代玩具コレクションから見る日本の世相史」

話者：日高真吾(文化資源研究センター・准教授)

(申込不要・要展示観覧券)

## 【体験コーナー】

体験コーナーには、すごろく、おはじき、ぬり絵など楽しい遊び道具を用意します。みんなくミュージアムパートナーズ(MMP)の「遊び隊」に声をかけて一緒に遊びましょう。

国立民族学博物館創設40周年

企画展「みんなのおもちゃ博覧会—大阪府指定有形民俗文化財『時代玩具コレクション』」

広報用画像リスト



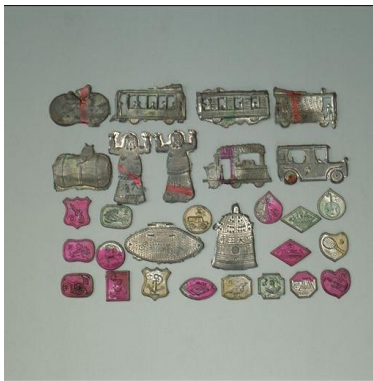
1. マスコミ玩具  
「UFO ロボグレンダイザー」



2. ブリキ玩具 軍艦「敷島」



3. 少女通学すごろく



4. 鉛めんこ



5. 英和カルタ



6. 鉄腕アトム

これらの広報画像はデータにて提供可能です。

ご入り用の画像があれば、広報企画室広報係まで裏面申込用紙の内容をお知らせください。

国立民族学博物館創設40周年  
企画展「みんなのおもちゃ博覧会—大阪府指定有形民俗文化財『時代玩具コレクション』」  
広報用画像リスト

広報用画像利用申込用紙

〔メールでお申し込みの場合〕 [koho@idc.minpaku.ac.jp](mailto:koho@idc.minpaku.ac.jp)

〔FAXでお申し込みの場合〕 FAX 番号: 06-6875-0401

【ご希望の画像番号】

|  |
|--|
|  |
|--|

【貴社・貴機関についてお知らせください。】

|                     |        |
|---------------------|--------|
| 貴社・貴機関名             | 媒体名    |
| ご担当者名               | 所属部署   |
| ご住所 〒               | E-mail |
| 電話番号                | FAX 番号 |
| ご掲載・放映の予定日が決まっている場合 | 年 月 日  |

【広報に関するお願い】

- 掲載記事、番組内容について館の基本情報の確認のため、原稿等の校正を、FAXまたはメールにて、下記連絡先までお送りいただきますようお願いいたします。
- 写真使用に関するお願い、注意事項
  - ・クレジットには全て国立民族学博物館と記載ください。
  - ・写真（画像）のトリミングや文字乗せはご遠慮ください。
  - ・作品写真の使用目的は、本展の紹介のみとさせていただきます。なお、本展覧会終了後の使用はできませんのでご了承ください。
- お手数ですが、掲載紙・誌または録画テープを3部お送りください。

【広報に関するお問い合わせ】

国立民族学博物館 広報企画室 広報係  
〒565-8511 大阪府吹田市千里万博公園 10-1  
TEL : 06-6876-2151 (代表) 06-6878-8560 (直通)  
FAX : 06-6875-0401 MAIL : koho@idc.minpaku.ac.jp



大学共同利用機関法人 人間文化研究機構

国立民族学博物館  
National Museum of Ethnology